

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者				
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午前10時～	地域医療	国保南丹みやま診療所の現状について	① みやま診療所の入院病床床の報道がテレビ等でもされているが、医師の今の状況と今後について伺う。	市 長				
			② 高齢化が進む美山地域における医療のあり方について市長の所見を伺う。					
			③ 診療所の運営で大きな赤字が出ているが、今後の財務状況をどう考えているのか。					
	水道	知井地区における水道の現状について	① 河鹿荘が自己水源を確保されて以降、当該地域への水道の供給状況はどうか、現在の状況を伺う。		市 長			
			② 夏季に入ると節水のお知らせ等を聞くが、湯水で水が足りないのか、それとも供給能力(浄水場)を上回る需要があるのかどうか。					
			③ 今後も現在の状況が続くのか、それとも何らかの改善措置を検討しているのか伺う。					
	環境衛生	「合併処理浄化槽」の今後について	① 合併処理浄化槽の本市における設置状況を伺う。			担 当 部 長		
			② 今後、合併処理浄化槽の更新時期を迎えるが、本市として更新等に係る経費等について支援を考えているのかを伺う。					
			③ 財政難の中、多額の支援は厳しいと考えるが、府、国への助成措置を講ずるべく要望活動を行っているのか、また具体的どのような活動をしているのか伺う。					
日本共産党 南丹市議会 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午前11時～	医療	11月から入院休止となった「みやま診療所」について	① 土日、祝日や夜間の診療について現状を伺う。	市 長				
			② 入院再開の目処および「みやま診療所」の今後について見解を伺う。					
	保育	保育所待機児童について	① 南丹市内の保育待機児童数について現状を伺う。				担 当 部 長	
			② 保育士及び職員について現状を伺う。					
			③ 南丹市での保育所の将来について展望を伺う。					
	個人情報保護	マイナンバーカードについて	① マイナンバーの申込先について伺う。		市 長			
			② 申し込みを取り扱う市職員の業務負担について伺う。					
			③ マイナンバーカード利用情報収納先について伺う。					
			④ 南丹市個人情報保護条例との整合性について見解を伺う。					
	新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午後1時～	地域振興	地域振興等を支援する人材および取組みについて			① デジタルお助け隊やまちづくり協働員、地域おこし協力隊など多様な人材による支援を行っていただいている。本市が取り組む、地域への人材による支援メニューについて伺う。		市 長
			区要望のデジタル化について			デジタルお助け隊に協力いただき、区からの要望書をデジタル化する事により、双方の効率化や要望の見える化等が図れると考えるが見解を伺う。		
		森林	森林政策の展望について			① 森林環境譲与税の用途について、多様な活用が可能であり多くの取組み事例も公表されている。本市において今後想定されている活用施策について伺う。		
② 譲与税を活用し、人材確保及び育成が必要と考えるが、見解を伺う								
財政		本市の資産運用について	国債の購入や、市債の市場展開等について見解を伺う。	市 長				
漁業	地域資源の有効活用について	本市では、日吉ダムにて陸封アユが確認されている。有効活用出来るように積極的な調査研究が必要と考えるが見解を伺う。						
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午後2時～	まちづくり	広域連携事業について	① 平成30年12月水道法改正の柱として「広域連携の推進」「官民連携の推進」等を明記し、都道府県を広域連携推進役と位置付け、国の要請に基づき府において、令和4年度末までに水道広域化推進プランの策定を追加した「京都市水道グランドデザイン」の改定を目指している。水道広域化に対する市長の所見を伺う。	市 長				
			② 京都市中部広域消防組合では国の指針に基づいた「京都府消防体制の整備計画」に基づき、消防指令センターの共同運用が6年度運用開始を目指し進められているが、市長の所見を伺う。					
	戦没者慰霊	忠魂碑、昭忠塔の管理運営について	① 忠魂碑や昭忠塔は遺族会を中心に管理運営に努めて頂いている。しかし、会員の高齢化や減少による管理運営が厳しい状況の地域もあり、元年第2回定例会において、同僚議員の質問に対し、市長は答弁されているが、その後の管理運営の考えについて、市長に伺う。		担 当 部 長			
			② 八木町東地区忠魂碑の参道建設の経過及び今後の管理運営について、市長の考えを伺う。					
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午後3時～	農業・地域振興・環境	ゴミを資源に変える循環型社会について	① 生ごみを堆肥として持続的に活用するためのコンポスト事業などを展開しているところもある。このような活動に対する見解について伺う。	市 長				
			② 循環型社会は、ゴミ問題という観点からも検討すべき目標と考える。これを、例えば、旧小学校区程度の狭い範囲で小さな循環をつくり、併せて地域振興につなげていくということも考えられるが、これに対する見解を伺う。					
	人事	特別職の報酬について	① 市長等の特別職の報酬については、近隣市町に比べ本市は低い水準にあると思うが、本市合併時からの報酬額の推移について伺う。	担 当 部 長				
			② 責任の重さなどに対する適正な報酬というのは考えるべきものと思うが、この点についての見解を伺う。					
至誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 12月2日 午後4時～	財政	財政運営について	① 中期財政計画より改善された、令和3年度一般会計決算の評価について伺う。	市 長				
			② 令和4年度以降の中期財政計画の策定について伺う。					
			③ 今後の財政運営の見通しについて伺う。					
	子育て支援	子育て支援について	① 本市の子育て支援制度は他市町の制度と比べ優位性があると思われるが、以前よりは優位性が薄れてきている。全国的には兵庫県明石市が有名であり、亀岡市も子育てサポート府内No.1として「子どもファースト」を宣言している。そこで本市の子育て支援制度の状況と評価について伺う。		担 当 部 長			
			② 本市の厳しい財政状況を鑑みると、他市町と子育て支援充実の競争をするのは好ましくない。ただ本市は合併以来、子育て支援条例を策定する等、子育て支援に力を入れてきた背景がある。そこで「子どもを大切に南丹市」を推進するためにも「子育て支援条例」を明石市の「子ども総合支援条例」のように充実、明文化し、基本理念の浸透を図り、市民をはじめとする市全体の協力連携により、理念の推進を図ってはと考えるが所見を伺う。					
			③ 離婚前後のこども養育支援について伺う。					

会派/質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者		
樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前10時～	まちづくり	地域おこし協力隊、伴走支援の導入について	総務省により平成21年度から制度化された地域おこし協力隊は、開始当初の隊員数89名、受入自治体数31団体から増加し続け、令和3年度の総務省資料によると現在は隊員数6015名、受け入れ自治体は1085団体を数える。この制度をきっかけに地域で起業定住し地域に貢献する隊員が多数存在する一方、地域とのミスマッチや、対人関係などの様々な問題を抱え離脱する隊員も少なくない。制度開始から13年が経過した現在では様々な調査研究が行われ、期間を限定し、おためし地域おこし協力隊や、協力隊インターンといった制度の拡充、また近隣では丹波篠山市をはじめとし、隊員の起業、日々の活動をサポートすることを目的とした中間組織や、コーディネーターの導入など、隊員に伴走支援する新しい取り組みが全国各地(滋賀県愛荘町、佐賀県、北海道下川町、福島県、北三陸地方、南さつま市、岐阜県など他多数)で行われ成果をあげている。当市においても、地域おこし協力隊制度の次なるステップとして、伴走支援の導入を検討してはどうか。	市長 担当部長		
	医療・福祉	医療通訳者派遣制度の導入について	日本国内においてはコロナ禍によって入国する外国人が急減する一方、在留外国人の総数の減少は極めて小さく外国人の日本での定着が進んでいる。南丹市においては全体の人口が減少する中、在住外国人数は増加しており法務省の統計によると令和3年末で393名が南丹市に居住している。南丹市においては人権に係る条例や計画において、外国人への支援や誰ひとり取り残されることのない社会の実現といった施策がうたわれている中、日本語を話せない外国人住民等への支援の中でも、医療現場におけるコミュニケーションギャップは生命に関わる問題であり、通訳技能と医学知識の双方を用いてコミュニケーションを支援する専門職「医療通訳者」の存在が欠かせないと考える。 京都府内で医療通訳者派遣制度が整っている京都市以外の他市に先駆け、この制度を導入することにより本市はもとより、近隣市町村に居住する外国人住民等への支援、制度の推進につなげていけるのではないかと考える。	市長 担当部長		
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前11時～	子育て支援	出産・子育て応援交付金について	国の2022年度補正予算案に、すべての出産家庭に計10万円を支給して妊産婦の伴走型支援につなげる「出産・子育て応援交付金」事業が盛り込まれた。事業内容は、今年4月以降に出産した人を対象に、妊娠届の提出時に5万円、出産届の提出時に5万円を支給するというものであるが、本市としての予算化について見解を問う。	市長 担当部長		
	医療	新型コロナワクチン接種について	① ワクチンの接種状況は。(年代別接種率)			
			② 残余分の処理方法は。			
			③ インフルエンザとの同時流行の対応は。			
④ 市としての今後の対応について伺う。						
	子宮頸がんについて	子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、本年4月より定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開されたところである。 ① 定期接種対象者やキャッチアップ対象者への周知はされたのか。 ② 今年度、前年度の接種率は。				
日本共産党 南丹市議会 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後1時～	行政の デジタル化	マイナンバーカードに関して	① カード取得人数と率、健康保険証利用申し込み人数と率、出張申請、休日交付・延長窓口に要した経費、不受理件数は。 ② マイナンバーカード取得は任意であること、国保保険証を廃止しないことを確認する。	市長 担当部長		
		個人情報保護法改定に伴う、個人情報保護条例廃止と法施行条例の制定に関して	① 現条例の「個人の権利・利益の保護」という目的が削除されることがあってはならない。 ② 市町村には必須とされていない「『匿名加工情報』利活用の提案募集」条項は排除するよう求める。			
	コロナ禍、物価高騰のもとでの暮らしと経営支援	子育て世帯への支援	① 来年度予算編成で学校給食の無償化実施を。 ② 18歳以下の国保税均等割廃止を求める。 ③ 18歳以下の国保税均等割額の総額を報告願う。			
			高校生、学生支援のとりくみ		高齢者世帯、子育て世帯と同様の給付を行うべきである。	
		融資返済、福祉資金返済への対応	① コロナ対応融資(ゼロゼロ融資)返済猶予へのとりくみを。 ② 11月開催の政策金融公庫融資相談会の参加人数を聞く。 ③ 生活福祉資金の返済免除・猶予のとりくみを。			
	新風会 木村 裕 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後2時～	男女共同参画の推進と働き方改革	取り組む意義と進め方		女性の社会進出や就労が進んでいるが、家事・育児・介護などを家族で分担するなどしなければ、両立はできない。社会全体で、働き方改革と意識改革が必要。 こうした社会構造の変化・意識改革が必要な時期に対応するため、多岐にわたる行政施策・事業の展開が求められているが、市としての考え方と進め方を伺う。	市長 担当部長
			庁内での取り組み		市は、市民に対し男女共同参画と働き方改革の施策・事業を進めるとともに、庁内で市職員に対する取り組みを推進し、モデルを示す必要があるが、その現状について伺う。	
			地域社会での取り組み		地域社会でも、地縁・血縁中心のムラ型社会からの変革が求められている。男女共同参画の進め方を伺う。	
		園部川河川改修と内水氾濫対策について	園部大橋架け替え工事の進捗状況		国が行っている園部大橋架け替え事業は平成29年度から始まり5年が経過した。その進捗状況と、市として対応すべき関連課題があるか伺う。	
	園部川河川改修と内水氾濫対策		大橋架け替え工事の進み具合を見て、今後園部川の河川の改修も進められる。これを踏まえて、内水氾濫対策や排水計画を進める必要があり、市の対応について伺う。			
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後3時～	学校教育	校則について	① 教育委員会では市立中学校の校則の内容についてどうとらえているか。 ② 文科省は「生徒指導提要」において、校則の内容は、児童生徒の実態、保護者の考え方、地域の状況、社会の常識、時代の進展などを踏まえたものになっているか、絶えず積極的に見直す必要がある、としている。見直しの状況について、どうとらえているか。また、学校の実態に即した運用や指導ができていくか等の観点から、必要に応じて校則を見直すよう通知などしているか。 ③ 見直しの際に配慮が必要な点や、見直しの方法などについてまとめた校則の見直しについてのガイドラインを策定すべきかと考えるか。	教育長 担当部長		
			福祉		子どもの貧困について	① 子どもの貧困についての現状と課題をどうとらえているか。 ② 課題解決に向けての現在の取り組みと今後の方向性は。 ③ 「子どもの貧困対策推進計画」の見直しが必要と考えるが、市長の見解は。
						生理の貧困
	活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後4時～	地域振興	指定管理施設(旧小学校)について	① 地元活用目安の10年までと約2年となる。各施設運営の現状を伺う。 ② 今後も様々な協議がされ、柔軟な対応についても検討されるべきだと考えるが、市としての考えや方向性を伺う。 ③ 地域での更なる活用を望む声もある。活用や広報に対して支援をすべきではと考えるが、市としての考えを伺う。	市長 担当部長	
				休園施設		休園施設(旧園部幼稚園摩気分園・西本梅分園)について

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午前10時～	福祉	高齢者などの世帯に対するゴミ出し支援について	<p>① 高齢者などの世帯のゴミ出しに関する市役所等に寄せられる相談等の状況は。また、高齢者などの世帯がゴミ出しに不安を抱えたり、苦慮されていることに対する市長の認識は。</p> <p>② 現在策定中の「地域福祉計画・地域福祉活動計画」において、高齢者などの世帯のゴミ出しの課題は、どのように捉え、対応しようとしているのか。</p> <p>③ 高齢化・核家族化の中で、高齢者などのゴミ出し支援に取り組む自治体が増えてきており、環境省では高齢者ゴミ出し支援制度の手引きを作成したり、総務省では、高齢者等のゴミ出し支援に対し、交付税で支援する制度を設けるなど、国でも政策課題として位置づけ、取り組み始めている。本市においても、重要課題と受け止め、取り組む必要があると考えるが。</p>	市 長 担 当 部 長
	交通・まちづくり	コロナ禍により削減されたJR西日本胡麻・園部～亀岡間の列車運行本数の回復について	<p>① コロナ禍により、JR西日本園部～胡麻間の列車運行本数の削減に続き、今春のダイヤ改正では、園部～亀岡間も運行本数が一部削減されたが、これらが及ぼしている影響について、どのように認識しているか。</p> <p>② 運行本数回復に向けて、JR西日本はじめ関係機関に対する要望や働きかけの状況並びにその結果などはどうか。</p> <p>③ コロナ禍の拡大は、完全には収束していないものの人の動きや経済活動などは、かなり活発になってきていると考えるが、運行本数の回復の見込みはどうか。現状が長期化すると、本市の定住促進やまちづくり全体にも影響が及ぶと考える。どのような認識か。</p> <p>④ 運行本数回復に向けて、今後、どのように取り組んでいくのか。</p>	
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 12月6日 午前11時～	市政	原油価格・物価高騰対策支援について	<p>① ロシアによるウクライナ侵攻などの地政学的な変化による燃料費の高騰、原材料不足と円安による肥料・飼料・資材の高騰が続いており、本市内の事業者や農林業者だけでなく、市民生活にも多大な影響を及ぼしている現状であり、早急な対応が求められている中、本年9月補正における新型コロナウイルス感染症対策(第13弾)及び原油価格・物価高騰等対策の現状について伺う。</p> <p>② 支援策に伴うマイナンバーカード交付の現状について伺う。</p>	市 長 担 当 部 長
	商工	企業誘致について	<p>① 企業誘致による地域経済効果や雇用者の現状について伺う。</p> <p>② 今後の企業誘致戦略について伺う。</p>	
	情報	デジタル田園都市国家構想について	デジタル庁では、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進室との連携の下で、デジタル田園都市国家構想が進められている。その事について市長の所見と今後について伺う。	
	福祉	健康福祉増進について	本市では、市民の健康づくりを後押しする健康増進事業として、なんたん健幸ポイント事業が進められている。現状の取り組みや参加人数と今後の取り組みについて伺う。	